

## 第三者評価結果 公表シート

(このシートに書かれている内容は、そのまま富山県福祉情報システムにおいて公表されます。)

事業所名：社会福祉法人鷹寺福祉会 小杉東部保育園

第三者評価機関名：富山県社会福祉協議会

評価確定年月日：平成 23 年 1 月 17 日

### 1. 概評

#### ◇ 特に評価の高い点

##### ① 職員・保護者・地域に浸透している理念や方針

- ・ 公立から民間への移行を機に、保育理念、目標、方針が、ミッションノートとして明文化され、園として目指す方向性が明確に示されている。園長や園長代理、主任保育士は「笑顔いっぱい元気な子どもになって欲しい」「自主的行動をし、思いを表現できるようになって欲しい」と思いを語っている。また、混合保育や体育教室を通して、年上への憧れを持つ子どもや、年下の子を思いやりの優しい心で励ましている子どもの姿がみられる。その子どもの成長や、自信を見て喜びを感じている保育士の様子から、園のテーマ、理念に基づいた保育目標が職員に浸透しており、その実践に職員全員が取り組んでいることがうかがわれる。
- ・ 職員は、講師を招いての園内研修、以上児会議、未満児会議、保育士同士での公開保育を実践し、意見交換や周知を図る取り組みが行われている。
- ・ 年1回開催している保護者会、個別懇談会や保育参観、給食参観、毎月発行している園だより、クラスだよりや連絡帳、掲示板等、いろいろな機会や方法を活用し、保護者への情報提供を行っている。

##### ② 家庭や地域との連携、ニーズに即した取り組み

- ・ 地域とのふれあい活動や行事へ参加している。園に児童館が併設してあることから、児童館の子育てミニサロンとも常に連携をとり、子どもや孫が通園していない地域住民に対しても、保育園に親しみをもってもらえるような工夫がなされており、利用者が多い。
- ・ 母体の法人が幼稚園を運営しており、幼保一体化等の多様化する社会的ニーズに即した対応に取り組んでいる。

##### ③ 職員間のコミュニケーションが円滑

- ・ 民営化されてから、職員の総力で作りあげてきたという連帯感が感じられ、職員同士のコミュニケーションが円滑である。管理職と一般職員との間でも意思の疎通が図りやすいように話し合う機会が設けられている。

## ◇ 改善を求められる点

### ① よりきめこまやかな保護者の育児支援に期待

- ・ 保護者とのコミュニケーションをとり、相談や苦情に対し記録を残すなど、育児支援に取り組まれていることがうかがえる。しかし、普段の保育園での様子をもっと知りたいと関心を持っている保護者や、思うように意向を伝えられないと感じている保護者への個別的な働きかけやニーズの把握に更なる工夫を期待したい。
- ・ 家庭での状況と、保育園での状況の違いに不安を持ち、詳細な園での日々の様子をもとめる親の思いと保育士の関わり方の思いの違いなど、利用者の思いに的確に答えられるような保育士の資質と努力が求められる。

### ② 子どもの主体的行動を大切にするさらなる保育の工夫を

- ・ 子どもの発達段階に合わせた保育に留意し、子どもがほっとする場の工夫が求められている中で、保育現場を豊かにしていくための研修体制の充実について熱意がうかがわれる。それに伴い、記録の取り方を工夫し、より掘り下げた子どもの内面理解に努めることが望まれる。また、職員の保育及び自己評価について日々見直しを図ることが求められる。

## 2. 大項目毎の特徴

### 1 運営管理

- ・ 園の保育理念、方針、目標が明文化されている。保護者や職員へは、年度初めの入園説明会、保護者会、職員研修等の機会を利用して周知に努め、研修の機会を活用するなど、保育の資質の向上に向け取り組んでいる。また、地域住民に対しても地域行事などに積極的に参加し、園の周知を図っている。
- ・ 保護者からの意見、苦情、要望は、日頃の送迎時のコミュニケーションに加え、保護者の総会や個別懇談会、アンケートを通じて、適宜に把握するよう努めている。また、これらを通して把握された保護者からの意見や要望は、園長を通じて理事会や法人会で伝えられ、中・長期計画に反映されている。
- ・ 職員研修を重視し、職員の希望や能力に応じた研修費を予算化している。また、玩具の購入に際し職員の意見を反映した予算編成がなされている。

### 2 地域の住民や関係機関との連携

- ・ 医療機関や公民館、児童相談所等の専門機関との連携体制が整っている。
- ・ 園に招待したり、訪問したりと、小学校や地域団体、地域住民との相互交流が図られている。また、併設の児童館の子育てミニサロンに積極的に参加し、交流が日常的に行われている。
- ・ 実習生やボランティアを対象に保育体験の場を提供しており、受け入れマニュアルを整備したり、受け入れ担当者を決めたりするなど受け入れ体制が整っている。

### 3 子どもの発達援助

- ・ 未満児には、一人ひとりの成長に応じた見守りが行われ、以上児は混合保育を通じ、子ども同士が互いに育ちあう保育の展開がみられる。
- ・ 専門家を招いての毎月の体操教室開催や裸足保育が実践され、五感を生かし、体全体で自然を感じ、体力作りを楽しむ子どもたちの元気な声や笑顔があふれている。また、その活動に対する保護者の期待も大きい。

### 4 子育て支援

- ・ 保育参観や懇談会のほか、必要に応じて話し合う機会を設け、保護者への育児支援に努めている。また、連絡帳や掲示物、送迎時の日常的会話の中で育児に関する情報交換が行われている。
- ・ 園の開放や早朝・延長保育、一時保育の実施、子育てミニサロンとの連携により、園での取り組みや情報を提供するなど、子育て支援に取り組んでいる。
- ・ 一時保育の要望が多く、受け入れに対しても部屋や保育士数等、万全な体制を整えている。保護者と保育士との気持ちを合わせ、子どもに安心感を与えられるよう配慮されている。

### 3. 各小項目にかかる第三者評価結果(ABCD評価結果) (別紙)

#### 4. 第三者評価結果に対する事業者のコメント

数十年もの保育歴がありながら、このような評価を初めて受ける機会を与えていただきました。頭、体に身につけているものを全て文章化する。それを末端まで把握してもらうため、全職員に口ばかりでなく、目で理解していただくまでの苦労は大変なものでした。評価は、よくここまでやってくれたと感謝いっぱいの成績でした。平成19年度より、各保育園の臨時保育士が正職員として民間保育園を立ち上げ、4年目の“証”です。この評価よりスタートであることを自分に言い聞かせています。今後は、保護者、職員の自己評価アンケートをとり、少しずつ指摘のあった点を改善します。そして、充分、職員、保護者とのコミュニケーションをとり合い、“子どもの最善の利益”をより一層考えていきます。

ありがとうございました。

別紙 各小項目にかかる第三者評価結果（A B C D 評価結果）

大項目		
中項目	小項目	評価

1 運営管理		
(1)基本方針	①理念及び基本方針が明文化され、職員、保護者、関係者に周知するための取り組みが行われている。	A
(2)中・長期計画	①中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	B
	②中・長期計画が適切に策定されている。	A
(3)組織運営	①保育の質の向上や改善のための取り組みを、定期的な自己評価など、職員参加により行っている。	A
	②職員の研修ニーズを把握し、職員に適切な研修機会を確保している。	B
(4)守秘義務の遵守	①守秘義務の遵守を周知している。	A
(5)情報提供・保護者の意見の反映	①情報提供に当たって、わかりやすく伝える工夫や配慮を行っている。	A
	②保育の実施に当たり、保護者から意見を聞くための取り組みを行い、その意向に配慮している。	A
	③保育サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	A
(6)安全・衛生管理	①事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されているとともに、事故防止のための具体的な取り組みを行っている。	B
	②調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	A
(7)人事管理	①人事管理の体制が整備されている。	A
(8)経営管理	①予算管理の体制が整備されている。	A
(9)管理者の責任とリーダーシップ	①管理者の責任が明確にされているとともに、リーダーシップが発揮されている。	A

2 地域の住民や関係機関との連携		
(1)地域の住民や関係機関・団体との連携	①医療機関・児童相談所などとの相談・連携体制を整えるとともに、その他地域の関係機関に関する情報を収集している。	A
	②小学校、地域団体、地域住民などとの連携、交流が図られている。	A
(2)実習・ボランティア・保育体験	①実習生、ボランティア、保育体験などの受け入れ体制が整っている。	A

3 子どもの発達援助		
(1) 発達援助の基本	①保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	A
	②指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している。	B
	③一人一人の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている。	A
	④一人一人の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録があり、それぞれの子どもに関係する全職員に周知されている。	A
	⑤一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議を定期的かつ必要に応じて開催している。	A
(2) 健康管理・食事	①登園時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	A
	②健康診断(歯科健診含む)の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	B
	③感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者に連絡している。	A
	④専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	A
	⑤日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて、子どもの喫食状況を保護者に知らせている。	A
	⑥食事を楽しむことができる工夫を保育士がしている。	A
	⑦食事を楽しむことができる工夫を栄養士、調理員などがしている。	A
(3) 保育環境	①子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	A
	②生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	B
(4) 保育内容	①子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	A
	②基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	B
	③子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	B
	④身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	B
	⑤さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	B
	⑥遊びや生活を通じて、人間関係が育つよう配慮している。	A
	⑦子どもの人権に十分配慮するとともに、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A
	⑧性差への先入観による固定的な観念や役割分担意識を植え付けないよう配慮している。	A
	⑨乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑩長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
	⑪障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A

4 子育て支援		
(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 子どもの発達や育児などについて、懇談会や保育参加など保護者と共通理解を得るための機会を設けるとともに、一人一人の保護者と日常的な情報交換や個別面談などを行っている。	A
	② 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、児童相談所などの関係機関に照会・通告を行う体制が整っている。	A
(2) 多様な子育てニーズへの対応	① 多様な子育てニーズを把握するための取り組みを行い、それを活動や事業に反映している。	A
(3) 地域の子育て支援	① 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている。	A
	② 一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A